

今後の脳血管内治療等に係る救急患者の搬送について（案）

1 現在の運用

脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）については、ジャストスコアを使用した脳血管内治療等に係る救急患者の搬送ルールの運用を平成 31 年 4 月 1 日に開始し、その後、救急隊の入力項目を 21 項目から 7 項目に減らした改良版ジャストスコアの運用を令和 2 年 10 月 1 日に開始した。

平成 31 年度から令和 4 年度まで、広島市連合地区地域保健対策協議会「救急医療体制あり方検討委員会」内に「脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）検討部会」（以下「検討部会」という。）を設置し、ジャストスコアに関する効果検証や運用検討等を行う中で、令和 3 年 10 月の検討部会において、ジャストスコアの導入により、医療機関との交渉が 1 回で決定する割合が有意に増加するなど、一定の効果が確認されたことから、現場の救急隊に適切に入力するよう周知・徹底を図りながら、改良版ジャストスコアを使用した搬送ルールを運用している。

このように、本運用について一定の導入効果が確認できたこと、また、救急現場にも定着し、脳血管内治療を必要とする患者を迅速に当該治療の実施可能な医療機関へ搬送する救急医療体制を構築するという目的が達成されたことを踏まえ、令和 5 年度からは、本市に「脳血管内治療における救急医療体制（病院前救護）運用協議会」を設置し、効果検証や運用検討等について協議することになった。

2 今後の検証方法

脳血管内治療を必要とする患者を迅速に脳血管内治療の実施可能な医療機関へ搬送できる救急医療体制（病院前救護）を維持するためには、改良版ジャストスコアに関するデータ分析の結果を今後の運用に反映させる必要があることから、来年度も今年度と同様に、兵庫医科大学の臨床研究の協力を得ながら検証してはどうか。

なお、同研究は、現在のところ令和 9 年 3 月末までの患者を対象に研究を行うことになっている。